給食だより

令和6年9月　遍照連島小規模保育園

９月１日は、「防災の日」

「防災の日」とは、1923 年９月１日に起きた関東大震災をきっかけに災害について考える日です。近年の大規模自然災害は、全国各地で発生し、岡山県でも大規模災害の発生が懸念されています。いつ起こるか分からない災害に備えて、安全に避難したり助け合えるように練習したり、災害や避難訓練について確認したり、備蓄について確認したりしましょう。

災害へ備えましょう

①非常備蓄品を揃えましょう。

災害食の備蓄はローリングストック法で備えましょう。ローリングストック法とは、普段から少し多めに食料や加工品を買っておき、使ったら使った分だけ買い足していくことで、一定量の食料を家に備蓄しておく方法です。いざという時にも日常的な食生活を送ることができます。

②各家庭の実情に合った備えをしましょう。

一人ひとり必要なものは異なります。各家庭の実情に合ったものを揃えておくようにしましょう。例えば、乳幼児のいる家庭であれば、粉ミルクや、柔らかい食べもの、水分を多めにするなど配慮が必要です。

連島こども園でも、毎年９月に非常用の水と備蓄品をおやつで食べる練習をしています。食べ慣れていないとなかなか難しいものもありますが、子ども達が食べやすいものを備蓄品として準備しています。また、衛生用品も同様に準備しています。日常的に慣れておけば、いざという時に慌てずに行動できます。

※倉敷市では次のようなチェックリストを作成しています。ご家庭でも確認してみてくださいね。

参照：倉敷ホームページ（防災危機管理室）